

学年	高校3年	教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2
教科書名	高校美術2（日本文教出版）			副教材名	画材等		
クラス・コース	全コース			担当者名	若山礼子・上笹真里奈		

#### I. 目標

- ・美術の幅広い創作活動を通じて美的体験を豊かにし、美術を愛好する心を育てると共に、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばす。

#### II. 授業のねらい

- ・美術の表現や鑑賞の基礎を学び、さまざまな創作活動に必要な技能を高める。自分の良さを発見し、美しさを感じ取る感性を高め、表現する楽しさや作品鑑賞の喜びを味わう。表現及び鑑賞における幅広い活動を通じて、生涯にわたり美術を愛好する心情を養う。

#### III. 授業の進め方

- ・参考作品（教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品）の鑑賞を通じて自分の作品の方向性を考え、色々な資料を集めて、課題に沿ったアイデアスケッチを数枚描く。
- ・スケッチから作品にまとめて制作に入り完成させる。完成後は他の生徒の作品を鑑賞し、その良さや美しさを味わう。
- ・2学期には「すずかけ祭」で作品の展示を行う。
- ・週2時間の美術の授業を美術室で行う。

#### IV. 学習上の留意点

- ・今後の学習や制作につながるような規則正しい行動を習慣づけさせる。
- ・個人の考えや、課題に対する適正を理解し、柔軟に対応する。
- ・提出物の期限を守る。作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

#### V. 定期試験

- ・定期試験は行わない。

#### VI. 評価の方法

- ・技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出期限を守れたかなどを評価の視点とする。また、出席状況や授業態度も重視する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	油彩 ・名画の模写	油彩を提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な時代の絵画作品に触れコンセプトを持って作品を選択する。</li> <li>・選んだ作品の絵画技法を理解し模写する。</li> <li>・他の生徒の作品に触れ、鑑賞する。</li> <li>・選んだ作品に忠実に、細部まで完成度の高い作品を制作する。</li> <li>・西洋絵画の歴史に興味を持ち知識を高める。</li> <li>・すずかけ祭で展示</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋の名画の中で油彩で描かれたものを選択し模写する。</li> </ul>	レポートの提出	
	6		授業態度	
	7			
		レポート ・名画の模写のレポート  ・制作した名画についてのレポート。その作家の時代背景、又その名画を選択した意図などを書く。		
二学期	9	サンドブラスト ・お皿の制作	サンドブラスト作品を提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートナイフの使い方を理解する。</li> <li>・作る喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。</li> <li>・自らのイメージに忠実に、根気よく表現する。</li> <li>・鉛筆の種類と消し具について理解を深める。</li> <li>・対象をよく観察し表現する。</li> </ul>
	10	・お皿に適したデザインを考え、制作する。	デッサンを提出	
	11	デッサン ・写真模写	授業態度	
	12	・気に入った写真を選択し、正確に模写する。		
三学期				

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。